

指定管理導入施設実績評価シート（平成28年度）

	施設所管課	健康保険部 長寿政策課
施設名	大津市立中老人福祉センターほか4センター	
指定管理者	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団	
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成29年3月31日	
指定管理料	年額 124,075,000 円(平成28年度) (3年総額 361,730,000 円)	
設置目的	○生きがい施設 地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等のための便宜を総合的に提供し、高齢者の健康で明るい生活を図るため。 ○デイサービス施設 介護保険法に基づき要介護・要支援認定を受けた高齢者が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るため。	
業務内容	(1) 生活、身上等に関する相談及び指導 (2) 保健及び疾病の予防に関する相談及び指導 (3) 後退機能の回復訓練及び回復指導 (4) 教養の向上及びレクリエーション等の指導 (5) 生業及び就労に関する相談 (6) その他市長が必要と認める事業 その他、大津市立北老人福祉センター、大津市立南老人福祉センター及び大津市立東老人福祉センターにおいては、介護保険法第8条第7項に規定する通所介護、同法第115条の45第1項第1号に規定する第1号通所事業その他の老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う。	

主な成果 <small>(自主事業含む)</small>	介護保険収入	目標	85,791,000 円	⇒	実績	84,582,758 円
	入浴料	目標	5,496,000 円	⇒	実績	4,385,150 円
	稼働率	目標	82.3 %	⇒	実績	79.2 %
	一般及びデイ利用者数	目標	149,471 人	⇒	実績	139,311 人
	【主な自主事業実施による成果】					
健康増進を目的に開催し、大変人気のある介護予防体操「ずーっと元気体操」を昨年度と同様に週2回で実施。						
木戸老人福祉センターにおいて、新たに運動系(卓球)の講座を開催し、多くの参加があった。						
平成28年度の合同研究発表会は、ヘルプ事業と合同で開催し、それぞれの事業での取組み内容等発表するなど情報共有を行なった。						

総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント				
	B (良好)	概ね事業計画どおりの管理運営がなされている。生きがい事業では新講座の開催や介護予防に力を入れていただくなど努力が見えるが、利用者数の減に歯止めがかかっていない。一方デイ事業では介護報酬単価が減になる中で、介護報酬を伸ばしている。今後も利用者のニーズの把握に努め、より一層の経営改善を期待する。				

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	事業計画に基づき運営している	B (良好)	事業計画に基づき運営されている
職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行っており、職員の労働条件等においても適正に実施している	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行っており、職員の労働条件等においても適正に実施している。障害者の雇用について、今後の課題
職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	職員健康教育、施設交流研修、合同研究発表会等を実施した	B (良好)	デイ職員については、十分な研修がなされている。老福職員についても接遇を含め同様の研修が必要
法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	B (良好)	法令・条例を遵守している	B (良好)	法令・条例を遵守している
個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法(実地調査)	B (良好)	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行っている	B (良好)	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行われている
管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	管理記録について適切に整備・保管している	B (良好)	管理記録について適切に整備・保管されている
連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	市へ報告すべき事項については、連絡・調整を行ない、報告書等については、速やかに提出している	B (良好)	日々の連絡・調整は密接に行なわれている。報告書等についても、速やかに提出されている
緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、対応している	B (良好)	緊急時の連絡体制は確立されている。マニュアルおよび訓練も職員に指導されている
【I 総括】 業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設8項目】			B (良好)		B (良好)

指定管理導入施設実績評価シート（平成28年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項
Ⅱ 内容・水準	施設管理 <input type="checkbox"/> 開館日、開館時間を遵守していたか。 <input type="checkbox"/> 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、日報	B (良好)	定められた開館日、開館時間を遵守している また、事故防止・安全確保のためのマニュアルを整備し、職員へ周知徹底している	B (良好)	開館日、開館時間を遵守している。事故防止・安全確保のためのマニュアルを整備し、職員へ周知している。
	利用状況 <input type="checkbox"/> 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	デイサービス利用者は前年度並みであったが、一般利用者が減となった	C (課題含)	利用者は中老福が休館していた前年度を上回ったが、前々年度に比べ減。
	利用者対応 <input type="checkbox"/> 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 <input type="checkbox"/> 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 <input type="checkbox"/> 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に対応している	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に対応している
	事業運営 <input type="checkbox"/> 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 <input type="checkbox"/> 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B (良好)	概ね計画どおり実施している	B (良好)	概ね計画どおり実施されている
	維持管理 <input type="checkbox"/> 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 <input type="checkbox"/> 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 <input type="checkbox"/> 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 <input type="checkbox"/> 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 <input type="checkbox"/> 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	施設・設備の維持管理を適切に行なっている。また、利用者から新たな要望があれば応じられるよう努力している	B (良好)	不具合設備の更新ができない中、職員の努力や緊急修繕などにより、施設・設備の維持管理が適切に行なわれている。
	情報提供 <input type="checkbox"/> 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 <input type="checkbox"/> ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	パンフレットによる案内や事業団ホームページにより情報発信している	B (良好)	個別のパンフレットや事業団ホームページにより施設情報を発信している。
	環境配慮 <input type="checkbox"/> 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	省エネ等職員一丸となって取り組んでいる	B (良好)	資源回収など省エネに向けて取り組んでいる
	意見・要望・苦情 <input type="checkbox"/> 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 <input type="checkbox"/> 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約している	B (良好)	センターに意見箱を設置。苦情・要望には所長自ら対応している。対応が不十分な場合は、本部の担当者が対応するなどしている。
	利用者アンケート <input type="checkbox"/> 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	利用者アンケート後の分析まで行なったがサービスまで反映できず	C (課題含)	デイのアンケートはされたが、分析が反映されていない。また、生きがい事業利用者へのアンケートが未実施。
	【Ⅱ総括】 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目／当施設9項目】				B (良好)	B (良好)
Ⅲ 収支等	経理事務 <input type="checkbox"/> 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 <input type="checkbox"/> 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 <input type="checkbox"/> 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している 経理執行状況については、各区分に分け管理を行なっている	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理。 経理執行状況については、各区分に分けた管理がされている
	収支状況 <input type="checkbox"/> 予算と決算に大幅な相違がなく、収入一支出はプラスとなっているか。 <input type="checkbox"/> 収支状況が対前年度及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	前年度と比較し、介護保険収入が増となった(概ね目標どおり)	B (良好)	介護報酬が下がる中、介護保険収入増となった。一方、目標には届かず。
	経費節減の取組 <input type="checkbox"/> 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 <input type="checkbox"/> 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書、実地調査	B (良好)	特に光熱水費(電気料)削減に向け、新電力の導入について検討を行なっている	B (良好)	特に光熱水費(電気料)削減に向け、新電力の導入について検討を行なっている
	【Ⅲ総括】 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】				B (良好)	B (良好)
Ⅳ その他	その他					
	【Ⅳ総括】 その他に関する評価【当施設1項目】					
特記事項等 (課題・成果)	<p>【指定管理者】 デイサービス利用者数は、2、3月のインフルエンザにより減となり目標に達することは出来なかったが、80%近い稼働率となった。一方、一般利用者数は減少傾向にあることから、今後は木戸老人福祉センターで実施した新たな取り組みを参考にし、利用者増に向け努力していく。</p> <p>【施設所管課】 中老人福祉センターが休館していた前年に比べると、利用者数は増加しているが、生きがい事業の利用者数減が、大きな課題となっている。高齢者の関心・ニーズを捉えた講座の工夫などにより更なる利用者増を目指してほしい。</p>					

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

